

令和6年度入学式式辞

---

桜の花が美しく咲き、春の息吹に、心和らぐ季節となりました。

本日ここに、令和六年度静岡県立藤枝西高等学校入学式を挙げていただけますことは、新入生はもちろん、私たち教職員、在校生にとりましても、大きな喜びでございます。

ただいま入学を許可しました百六十六名の生徒の皆さん、御入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を祝福するとともに、心から歓迎いたします。

この佳き日にPTA会長の伏見泰典様、同窓会長の滝井眞智子様、学校運営協議会会長の鈴木尚夫様を始め、多数の御来賓の方々にも御参加いただき感謝申し上げます。

本校は、大正七年に高等女学校として開校以来、地域の女子教育の拠点として、永きにわたり、発展してまいりました。昭和二十七年に、静岡県立藤枝西高等学校と改まり、その後、平成十二年度の男女共学化とともに蓮華寺池のほとりから、現在の地に移転し、新たな学び舎で、地域の方々にも愛され、今日に至っております。

本校は校訓「自律 敬愛」のもと、多様な進路希望に挑戦できる学校として

○主体性、協働性を育む多様な学び

○豊かな感性と異文化理解の精神を育むグローバルプログラム

○地域とつながるコミュニティ・スクール事業 など

に取り組んでおります。こうした活動を通して何事にも積極的に挑戦する気概を育み、未来を切り拓く力を育てるとともに、他者との協働を通して国際的視野を備え、社会に貢献する力を持つ人材の育成を目指しております。このような活動は、生徒の健やかな成長に寄与するとともに、藤枝西高等学校のさらなる発展に繋がるものです。

さて、本日は、今日から藤枝西高校の生徒となる新入生の皆さんに、学校生活において心掛けてほしいことを二つお話しします。

一つ目です。タフな精神を育てましょう。

小学校6年生から中学2年生までおよそ3年間、本来であれば行われるべき教育活動に制限があった皆さんは、楽しみにしていたことを断念したり、我慢したりを繰り返しながら成長してきました。心の成長には多くの刺激が必要です。

タフな精神を育むには、自らにとって都合の良い意見や楽しいことだけを受容するのではなく、異なる意見、辛い経験、難しい場面も受け止め、我慢したり許容したり理解したりしながら、少しずつ乗り越えていく様々な経験こそ重要です。

例えば、社会生活を送る上では、コミュニケーション能力は非常に大切な要素です。

しかし、昨今は、人との関わりが非常に淡泊になっていると感じています。社会全体としてコミュニケーション能力を育てる機会が確実に減っているからです。対面での活動が制限された影響もあり、一人でスマートフォンを見る時間も増えています。小さな画面ばかりを見るのではなく、空をみて夢を抱き、是非、大きな目標を持ってください。

西高には、人と関わり、チャレンジする機会がたくさんあります。自分と趣味が近い人

や同じような価値観を持つ人とだけでなく、異なる考えを持つ人の価値観を知り、認め、理解しようと努めることで心の幅は広がります。部活動、生徒会活動、学校祭、コミュニティ・スクール事業、グローバルプログラム、など様々な取組には、友と喜び、熱中できる内容が詰まっています。真剣に取り組めば、上手く進まない葛藤も必ずあるでしょう。悩みながらも前を向き、進んでいくことこそ自然な成長過程であり、健康なことです。

どっぷり関わっておくことで、ちょっとやそっとでは、挫けない耐性も培われます。

高校時代に築いた仲間との関係は、間違いなく、生涯にわたる親密な交わりとなります。

自らを俯瞰し、思うようにいかない時にその経験自体を楽しむ余裕と経験の場があることへの感謝の念を持ちながら、一步一步前進して、タフな精神を養ってください。

二つ目です。無駄と思えるようなことにも積極的にチャレンジしてください。

最近では、何かにつけ「効率のよさ」が求められます。これはとても大切な視点で、否定するものではありません。しかし、遠回りして苦労して得た知見は、たどりつくまでに要した間に、予期せぬ発見や副次的な知識の習得があるなど、潜在的に心に残る場合が多々あります。時間をかけて身に付けたことの方が、定着していることが多いということです。

一見、無駄、と思われているようなことであっても、信じて、一生懸命に取り組むことで、心の支えになることもあります。

例えば、効率のよい学習は、誰もが知りたいところでしょう。短時間で楽をして力をつける。しかし、そういった効率的な学び一辺倒よりも、先生や仲間を頼りつつ、誠実に取り組み、自分に合った方法を身に付けていくことこそ重要です。

多少、遠回りしながらでも自らの成長に繋がっているんだと信じて、様々な知識の習得をしながら、学びの深さにつなげてください。

取り組む過程に価値があり、その結果は後から必ず付いてきます。

本校には、仲間と情熱を注いで深くかかわる行事や成長する機会がたくさんあります。どの活動に取り組んでも、その過程は、皆さんの宝、そして財産となるでしょう。是非、好きな事だけでなく、あまり得意でないことにも積極的に挑戦してみてください。これから始まる西高生活を通して、大きく成長していく皆さんの姿を楽しみにしています。

むすびに、本日、御参列いただきました保護者の皆様、お子様の御入学、まことにおめでとうございます。義務教育を終えたとはいえ、高校生は、大人と子どもの二面を持ち合わせている多感な時期です。御家庭におかれましても成長を信じて、褒める時は大いに褒め叱るべき時はきっちり叱り、寄り添ってください。

私たち教職員一同、お子様が自ら進むべき道を自らの力で切り拓いていくことが出来るよう、保護者の皆様と協力しながら、全力で支えてまいります。

御家庭におかれましても、本校の教育方針などについて、御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日入学した、新入生百六十六名、全ての皆さんの、充実した高校生活と、健やかな成長を祈念し、式辞といたします。